

宮古地区広域行政組合広報

1

Vol.21
発行 2025.1

目次

- 年頭のごあいさつ.....2
- 職員の給与などを公表します.....3
- 令和5年度歳入歳出決算報告.....4~5
- 事務局施設課からのお知らせ.....6~9
- 消防本部からのお知らせ.....10~11
- 消防長表彰・全国消防救助大会.....12



令和6年3月に屈折梯子付消防自動車を更新しました。
中高層建物の火災・救助事案で出動し、最大約26mの高さまで梯子を伸ばすことができます。



宮古地区広域
行政組合HP



宮古地区広域行政組合 管理者

宮古市長 山本正徳

令和7年の年頭にあたり、宮古地区広域行政組合を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

宮古地区広域圏の住民の皆様におかれましては、日頃より広域行政の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当組合におきましては、資源物の有効活用や分別排出の普及促進など、4R（フォーアール）推進施策の充実強化を図り、「資源循環型社会の形成」に向け、構成市町村と連携して取り組んでおります。

また、女性消防職員の活躍の場を広げるため、管内全ての消防署所で女性職員が従事できるよう施設の改修を行い、多様な視点での対応力と住民サービスの向上に取り組んでおります。

令和7年は、一般廃棄物処理業務では、令和10年度の一般廃棄物第2最終処分場の運用開始に向け、事業を進めてまいります。また、廃棄物のリサイクルを進めるため、令和6年4月から製品プラスチックの回収を始めました。ごみの減量化・資源化の普及促進に一層努めてまいります。

消防業務では、令和8年度の消防指令センターの共同運用に向け、指令・無線設備の効率的な配置と運用について最終調整を図ります。また、災害時の安定的な通信を確保するため、衛星通信回線による情報端末等を更新します。引き続き地域防災力と消防活動体制の充実強化を進めてまいります。

これらの業務を通じて、住民サービスのさらなる向上と、災害時等においても、皆様が、安心して生活できる安定した事業体制となるよう、継続して取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、「希望あふれる、健やかな一年」となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ



宮古地区広域行政組合議会

議長 木村 誠

令和7年の新春を迎え、宮古地区広域圏の住民の皆様には、平素から宮古地区広域行政組合議会に対しまして温かいご支援とご理解を賜り感謝申し上げますとともに、組合議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の4市町村が共同で、ごみ・し尿処理、救急救命及び消防活動等の事務を行っております。

人口減少や少子高齢化は、当地域だけでなく全国的な問題となっており、また、長期化する物価高騰が地域の経済や住民の生活に大きな影響を及ぼしております。

このような状況下における宮古地区広域行政組合の課題は、一般廃棄物処理業務においては、構成市町村と連携したごみの減量化・資源化に向けた継続的な取り組みのほか、一般廃棄物処理施設の安定的及び効率的な運営であると認識しております。

消防業務においては、救急業務の高度化、火災予防の推進等、住民の消防行政への信頼や期待に応えるために、より一層地域防災力の強化を図るとともに、大規模災害への備えとして、関係機関との連携及び協力体制の維持が重要であると考えております。

当議会としても、住民の視点に立ち、事務執行におけるチェック機能の役割を果たすとともに、地域住民の生活向上と安全で安心して皆様が暮らせるよう努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。

職員の給与などを公表します

令和5年度の職員の給与・定員管理などを公表します。

1) 総括（令和5年度決算）

1 人件費

管内人口 (R6.3.31現在)	歳出額 (a)	実質収支	人件費 (b)	人件費率 (b/a)	人件費率 (R4年度)
71,288 人	3,436,696 千円	80,710 千円	1,775,107 千円	51.7 %	55.0 %

2 職員給与費

(単位：千円)

職員数	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
一般行政職 17人	64,629	5,980	25,499	96,108
消防職 204人	756,858	225,864	297,522	1,280,244
合計 221人	821,487	231,844	323,021	1,376,352

※職員数は令和5年4月1日現在の人数です。
職員手当には退職手当は含まれていません。

2) 職員の平均給与月額・初任給などの状況

1 職種別・学歴別初任給および経験年数別平均給料月額 (令和6年4月1日現在)

(単位：円)

区分	決定 初任給	経験年数			
		10年	15年	20年	
一般行政職	大卒	188,800	258,400	287,300	323,700
	高卒	167,900	227,500	263,300	293,100
消防職	大卒	218,800	282,600	310,900	349,100
	高卒	189,600	265,000	283,000	330,600

2 平均給与月額と平均年齢

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	44.5歳	321,094円
消防職	36.8歳	309,217円

3) 職員の手当の状況

1 期末・勤勉手当

◎1人当たり平均支給額（令和5年度実績）1,462千円
◎支給割合 期末手当＝2.475月分、勤勉手当＝2.025月分
※そのほかに職制上の段階などによる加算措置があります。

2 退職手当（令和6年4月1日現在）

勤続年数	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.58688月分
勤続25年	28.0395月分	33.2708月分
勤続35年	39.7575月分	47.7090月分
最高限度額	47.7090月分	47.7090月分
一人当たり平均支給額 (令和5年度退職者)	614千円	22,520千円

【そのほかの加算措置】定年前早期退職特例措置（2～45%加算）

3 そのほかの手当（令和5年度実績）

各種手当	支給実績(千円)	支給職員1人当たり 平均支給年額(円)
特殊勤務手当	13,795	82,607
時間外勤務手当	51,284	272,789
扶養手当	34,241	259,402
住居手当	15,059	313,719
通勤手当	31,251	161,922
夜間勤務手当	14,878	90,718
休日勤務手当	62,386	605,693
管理職手当	8,230	587,829
単身赴任手当	720	360,000

4) 議員等の報酬

区分	報酬年額	区分	報酬日額
議長	45,000円	監査委員	識見を有する者 6,500円
副議長	42,000円		議会選出 6,500円
議員	40,000円		

※管理者及び副管理者の報酬は支給していません。

5) 職員数の状況

職種別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日）

職種	令和6年 (a)	令和5年 (b)	対前年増減数 (a)-(b)	主な増減理由
一般行政職	18人	18人	0人	
消防職	202人	204人	-2人	退職による減
合計	220人	222人	-2人	

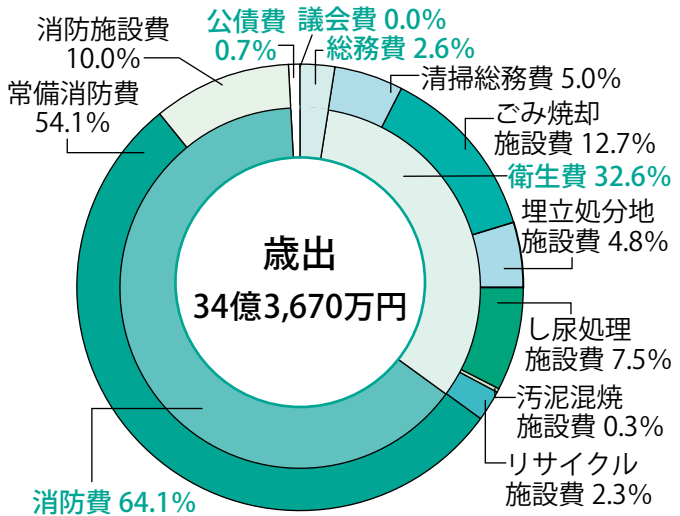
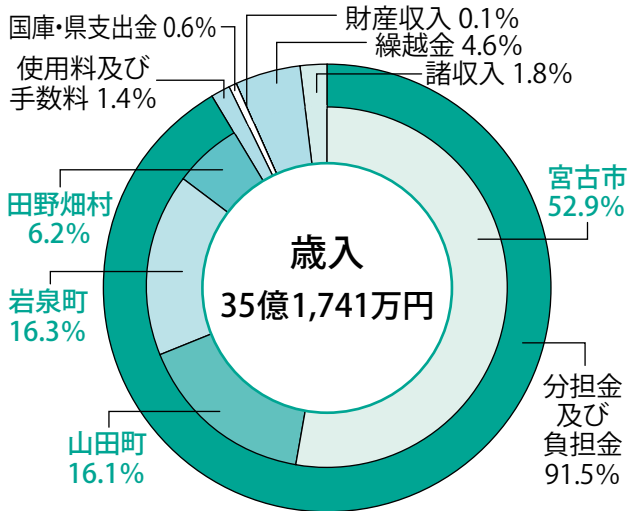
※構成市町村からの派遣職員を含む。

令和5年度 宮古地区広域行政組合決算の概要をお知らせします

令和5年度の決算額は、歳入が35億1,741万円で前年度比3億409万円(9.5%)の増額、歳出が34億3,670万円で前年度比3億8,660万円(12.7%)の増額でした。

【歳入】

区 分	金 額	構成比	説 明
分担金及び負担金	32億1,908万円	91.5%	構成市町村からの負担金
宮古市	18億5,931万円	52.9%	
山田町	5億6,624万円	16.1%	
岩泉町	5億7,531万円	16.3%	
田野畑村	2億1,822万円	6.2%	
使用料及び手数料	4,787万円	1.4%	ごみ処理手数料、消防手数料など
国庫・県支出金	2,099万円	0.6%	循環型社会形成推進交付金事業費補助金など
財 産 収 入	457万円	0.1%	車両の売払収入など
繰 越 金	1億6,322万円	4.6%	
諸 収 入	6,168万円	1.8%	資源物売却代金など
歳入合計	35億1,741万円		



【歳出】

区 分	金 額	構成比	説 明
議 会 費	197万円	0.0%	議会運営に要した経費
総 務 費	8,958万円	2.6%	事務局の管理運営に要した経費
衛 生 費	11億1,918万円	32.6%	ごみ収集運搬委託 廃棄物処理施設管理運営に要した経費
消 防 費	22億2,290万円	64.1%	消防・救助業務に要した経費 施設・車両等の整備に要した経費
公 債 費	2,368万円	0.7%	借入金返済など
歳出合計	34億3,670万円		

令和5年度に実施した主な事業

議会事業 1,965,101 円
宮古地区広域行政組合議会の開催に要した経費です。

一般管理事業 89,236,856 円
職員の人件費と効果的な事務処理を図るための財務システム等の運用など、事務局の管理運営に要した経費です。

清掃総務事業 171,581,740 円
山田町、岩泉町、田野畑村のごみ収集運搬委託等に要した経費です。
山田町地域 65,178,740 円
岩泉町地域 84,194,000 円
田野畑村地域 22,209,000 円

ごみ焼却施設事業 434,213,763 円
職員の人件費と清掃センターの運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

埋立処分地施設事業 165,407,350 円
職員の人件費と最終処分場の運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

し尿処理施設事業 258,296,623 円
職員の人件費と衛生処理センターの運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

汚泥混焼施設事業 10,010,178 円
下水処理及びし尿処理に伴い発生した汚泥を焼却する施設の管理運営に要した経費です。

リサイクル施設事業 79,654,520 円
職員の人件費と資源物（缶・びん・ペットボトル・プラ類・紙類等）を処理するリサイクル施設の運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

常備消防事業 1,859,038,214 円
消防職員の人件費と火災予防、警防、救急、救助業務等に要した経費です。

消防施設事業 343,245,037 円
消防施設の整備、車両購入等に要した経費です。

災害対応型非常用発電設備設置工事实施設業務委託
(宮古消防署) 3,245,000 円
照明器具等更新工事实施設業務委託
(宮古消防署) 1,100,000 円
女性専用施設庁舎改修工事实施設業務委託
(岩泉消防署、田老分署、川井分署) 4,382,400 円
高規格救急自動車購入
(田老分署) 40,942,000 円
水槽付消防ポンプ自動車購入
(岩泉消防署、川井分署) 128,040,000 円
屈折梯子付消防自動車購入
(宮古消防署) 160,578,000 円
いわて消防指令センター総合整備事業 4,957,637 円



水槽付消防ポンプ自動車



高規格救急自動車

ごみを減らすための「4R」

令和4年度実績を見ると、宮古広域管内の一人1日平均排出量（生活系ごみ）は745グラムで、岩手県平均の630グラムに対して115グラム多くなっています。

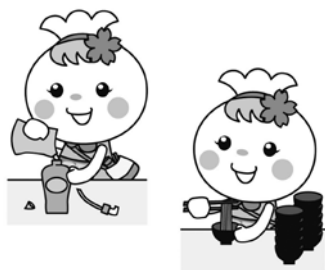
そこで、ごみを減らすための4Rという取り組みをご紹介します。ぜひ実践して、ごみの減量にご協力をお願いします。

〇4R（フォーアール）

4Rとは、次の4つの英語の頭文字「R」をとったごみを減らすキーワードです。1から4の順に優先順位があります。

1. Refuse（リフューズ）：買わない・断る

- ・不要なものは買わない・断る。
- ・マイバックを使用してレジ袋や包装紙を断る。
- ・マイボトル、マイカトラリー（はし、スプーン、フォーク）を使い、使い捨て用品を断る。



2. Reduce（リデュース）：減らす

- ・生ごみをひと絞りして水分を切ってから出す。【①ひと絞り運動】
- ・使用量や購入量を減らす。
- ・食料品や日用品などで詰め替えできる商品を積極的に利用する。
- ・食材を無駄にしない。食べ残しをしない。【②食品ロスの削減】

3. Reuse（リユース）：再利用・繰り返し使う

- ・一度使って捨てるのではなく、再利用する。
- ・できるだけ修理して長く大切に使う。
- ・フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用して人に譲る。

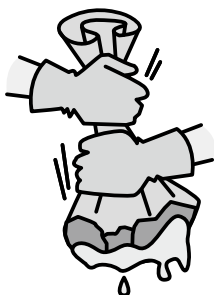


4. Recycle（リサイクル）：資源として再生利用する

- ・資源になるものは、ごみ出しのルールに従って正しく分別する。
- ・地域の集団回収に積極的に参加する。
- ・再生資源を利用した物や土にかえる素材を使ったものなど、環境にやさしい商品を選ぶ。

【①ひと絞り運動】とは

家庭から出る燃やせるごみの約半分が台所から捨てられる生ごみで、生ごみのその大半は水分です。捨てる前にひと絞りすると水分が抜けて重量が減るため、ごみの減量につながります。



【②食品ロスの削減】とは

食品ロスとは、まだ食べることができるにもかかわらず、ごみとして捨てられたものを指します。

家庭では、食材を買いすぎない、調理の際に作りすぎないなどの対策があります。また、飲食店では、食べきれぬ量を注文して食べ残さないことを心掛けることで、食品ロスの削減につながります。

不法投棄、野焼きは禁止されています

廃棄物をみだりに捨てたり放置することは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で禁止されています。違反した場合には、「5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金」という厳しい罰則が規定されています。

また、一部の例外を除き、廃棄物の野焼き（野外焼却）についても不法投棄同様の罰則が規定されています。ドラム缶、ブロック囲い、穴を掘ってごみを燃やすことも野焼きとなります。

悪臭や有害物質、煙などによる大気汚染を発生させる恐れがありますので、絶対にしないでください。



イベント開催について

○フリーマーケット

リユース（再利用）の促進を目的に組合の敷地を開放してフリーマーケットを開催しています。令和6年度は、5月から11月に6回開催しました。令和7年度の開催については、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。

○再生品展示会

回収された不用品（タンス・テーブル等）の中から再利用できるものを展示し、希望者へ無償でお譲りします。令和6年度は8月に開催しました。

再生品の回収状況により開催日は不定期となります。決まり次第、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。

○ポスターコンクール

小学校3年生から6年生を対象に、4R・環境保護推進ポスターコンクールを開催しています。令和6年度は130作品の応募がありました。令和7年度の作品募集の詳細は、事務局ホームページへ掲載のうえ、各小学校を通じてご案内します。

資源物等の売払いについて

分別にご協力いただいている資源物は、みやこ広域リサイクルセンターで処理を行い、缶類・紙類などを売却しています。また、一般廃棄物最終処分場の燃やせないごみから回収した鍋や釜などの鉄くずも売却して施設の運営費の一部として活用しています。

○令和5年度売払量及び売却額

品目	売払量	売却額
アルミ缶	約80トン	18,620,558円
スチール缶	約37トン	1,997,415円
段ボール	約282トン	5,977,981円
新聞紙	約354トン	7,601,011円
雑誌	約241トン	3,659,971円
紙パック	約7トン	83,259円
一升びん・ビールびん	約27トン	193,733円
鉄くず	約227トン	10,734,243円
合計	約1,255トン	48,868,171円



ごみの分別は資源循環の推進やごみ処理費用の低減につながります

引き続きごみの分別にご協力をお願いします！



よくあるお問い合わせQ&A

集積所にごみを出せない場合や、引っ越しなどで一度に多量のごみを出す場合は、直接、ごみ処理施設に持ち込みすることができます。

Q ごみの受け入れはいつ行っていますか？

A 日曜日と1月1日～3日以外は受け入れしています。(土曜日・祝日でも受け入れ可)
時間は午前8時30分～12時、午後1時～4時30分です。

Q 処理料金はかかりますか？

A	家庭からのごみ	事務所からの一般廃棄物
燃やせるごみ	50kgまでは無料。	10kgまで50円。
燃やせないごみ	50kgを超える10kgごとに50円加算。	10kgを超える10kgごとに50円加算。
資源物	無料	10kgまで30円。 10kgを超える10kgごとに30円加算。 ※缶、びん、ペットボトルのみ可

※事業所からの一般廃棄物…個人・法人問わず事業活動で発生した産業廃棄物以外のもの。
例えば、書類などの紙類（燃やせるごみ）や従業員の飲食に伴って排出された缶、びん、ペットボトル（資源物）が対象となります。産業廃棄物については、受け入れできませんので、産業廃棄物処理業者に依頼してください。(岩手県のホームページで確認できます。)

Q ごみの収集について聞きたいのですが？

A ごみの収集（粗大ごみ含む）については、お住まいの市町村担当課へお問い合わせをお願いします。なお、直接持ち込む場合は予約なしで持ち込み可能です。

Q 犬や猫などのペットが亡くなったので焼却をお願いしたいのですが？

A 動物焼却炉で焼却可能ですが、廃棄物として取り扱います。
事務局ホームページにある「動物の死体処理届出書」にご記入し、直接持ち込んでください。
料金は1体につき20kgまでは1,000円、20kgを超える場合は1,500円となります。
【注意事項】・火葬ではなく焼却として取り扱います。また、焼却に立ち会うことはできません。
・収骨（骨の持ち帰り）を希望する方は、持ち込み時に職員へお伝えください。
原則、持ち込んだ翌週以降にお渡しできます。お骨を入れる容器を持参してください。

Q テレビを持ち込めますか？

A 「家電リサイクル法」により持ち込めません。
家電リサイクル法に該当するものは、テレビ・エアコン・冷蔵（冷凍）庫・洗濯機などがあります。
処理については、購入又は買い替えしたお店に依頼するか、家電リサイクル券センター（0120-319640）にご相談ください。また、郵便局でリサイクル券を購入のうえ、岩手三八五流通株式会社宮古支店（0193-67-2311）に持ち込むこともできます。
詳しくは、お住まいの市町村ホームページ等で確認してください。

施設見学・出前講座の実施について

施設に持ち込まれた廃棄物がどのように処理されているのか理解を深めていただくため、施設見学・出前講座を実施しています。お気軽にお問い合わせください。お申込み、お問い合わせは事務局施設課（0193-64-7111）までお願いします。

●施設見学について

実施日時：月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く。）
午前9時～12時、午後1時30分～4時
※機器の点検等により見学ができない場合があります。

所要時間：宮古清掃センター 約40分
みやこ広域リサイクルセンター 約40分
一般廃棄物最終処分場 約20分
宮古衛生処理センター 約40分

申込方法：事前に電話などでお申込み後、施設見学申込書を提出してください。

- ・申込書は、事務局ホームページからダウンロードするか、事務局でも配布しています。
- ・申込書は、見学日の7日前までにご提出ください。
- ・個人の申込みは受付けておりません。

・令和5年度実績

学 校	14団体	389名
一 般	2団体	24名
合 計	16団体	413名

●出前講座について

実施日時：要相談（土曜日・日曜日などでも可）

所要時間：約45分～60分

（ご依頼いただいた時間内で対応します。）

内 容：ごみの分別やリサイクルなどについて、DVDなどを使って説明します。

申込方法：事前に電話でお問い合わせください。

・令和5年度実績

一 般	2団体	60名
-----	-----	-----



119番通報は「落ち着いて」

119番通報は、緊急事態に、みなさんが迅速かつ適切な支援を受けるための大切な手段です。

下記の「通信員が聞く内容」を参考に、実際に通報する場合には、落ち着いて質問にお答えください。また、傷病者を助けるため、通信指令員から「応急手当」を依頼する場合がありますので、できる範囲でご協力をお願いします。

〈通信員が聞く内容〉



共通

場所（住所）はどこですか？ 近くの目印や建物名はわかりますか？
※慌てず、落ち着いて「市町村名」からお伝え願います。



火災

- ①なにが燃えていますか？（建物、車両、山火事など）
- ②けが人や、逃げ遅れた方はいますか？
- ③炎、煙の勢いはどうですか？



救急

- ①具合が悪い（若しくはケガをした）のは誰ですか？
- ②意識、呼吸はありますか？ どこが痛い（苦しい）ですか？
- ③持病や掛かりつけの病院はありますか？



救助

- ①どのような事故ですか？（交通事故、溺れた、転落したなど）
- ②けが人は何人ですか？ 救助が必要なのは何人ですか？
- ③意識、呼吸はありますか？ どこが痛いですか？（痛がっていますか？）

〈応急手当要領〉

心肺蘇生法

▶反応がなく普段どおりの呼吸がない場合

倒れている人を仰向けにし、胸の真ん中に手のひらの付け根を当てて、その上にもう一方の手を重ねて置いて、真上から強く圧迫します。

圧迫のテンポは100～120回/分くらいの速さで、両腕をまっすぐ伸ばして真上から約5cm圧迫します。



熱傷手当

水道の流水で10～20分程度冷やしてください。衣類を着ている場合は、着衣ごと冷やします。

すぐに冷やすことで、症状の悪化を防ぎ、回復を早めます。



気道異物除去法

▶食べ物などを喉に詰まらせた場合



咳をできずに異物が出せない場合、まず背部叩打法を行います。効果がない場合は、腹部突き上げ法を試みます。反応がなくなった場合は心肺蘇生法を行います。

止血法

強く抑える



きれいなタオル、ハンカチなどを出血部位に当て、強く圧迫します。5～10分以上圧迫を続け、出血が止まるまで圧迫しましょう。

当消防本部のホームページにも応急手当に関するリンク（総務省消防庁応急手当 web 講習）を載せています。動画を見るだけでも参考になりますので、ご覧ください。



QRコードを読み込むと消防本部ホームページに移動します。

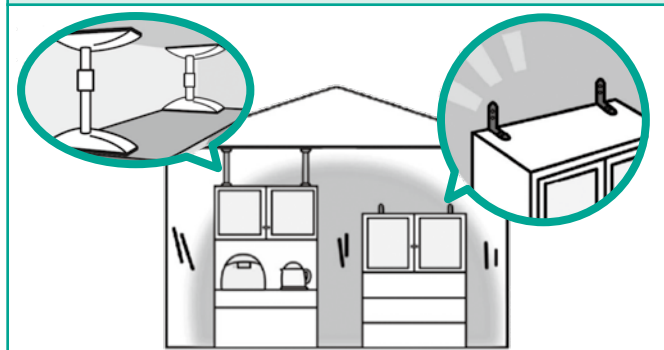
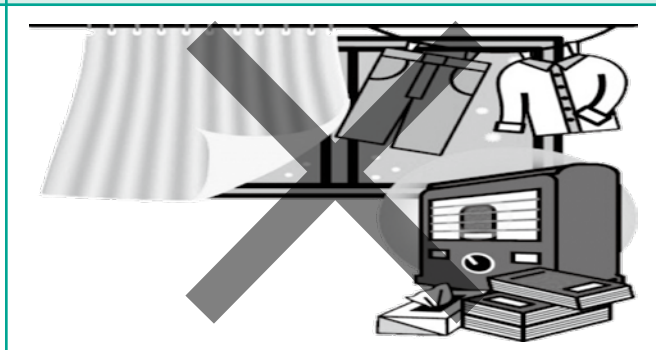
地震火災対策 きちんとできていますか？

大規模地震発生時には、火災が同時に多くの場所で発生するおそれがあります。

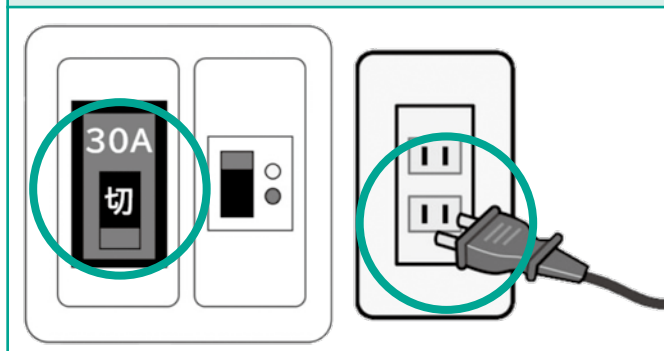
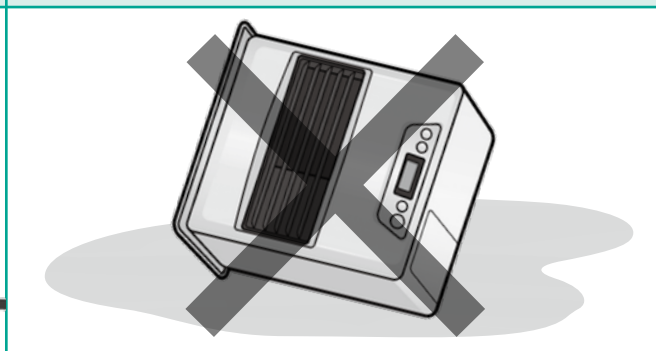
また、被害の状況等により消火活動が困難な状態となる可能性が高く、特に木造密集市街地では、大規模な火災につながります。

このため、ご家庭での地震火災対策が重要になりますので、チェック項目に沿って確認をしましょう。

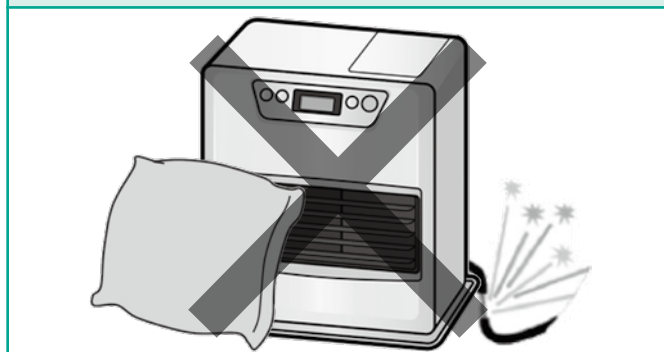
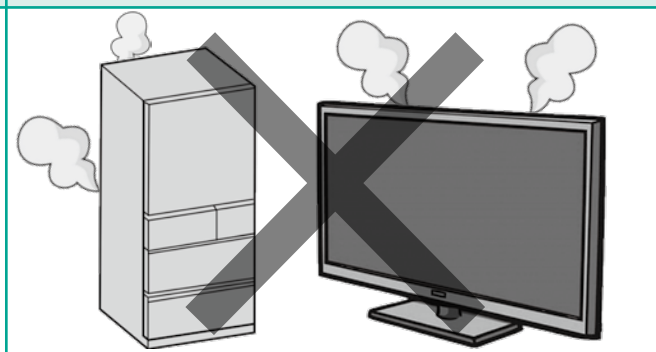
事前の対策

<input type="checkbox"/> 家具等の転倒防止対策をしましょう	<input type="checkbox"/> 暖房機器周囲の整理整頓をしましょう
	

地震直後の行動

<input type="checkbox"/> 停電中は電気器具のスイッチを切り、プラグをコンセントから抜きましょう 避難するときはブレーカーを落としましょう	<input type="checkbox"/> 暖房器具の転倒や油漏れなどがいないか確認しましょう
	

避難から戻ったら（電気やガスが復旧したら）

<input type="checkbox"/> ガス、電気、石油器具などの使用を再開するときは、破損がないことや周囲に燃えやすいものがないことを確認しましょう	<input type="checkbox"/> 使用再開後は、しばらく器具に異常がないか煙やにおいなどに注意しましょう
	

消防長表彰(一般住民等功労表彰)を実施しました



上段左から 岩花宮古消防署長、石田消防課長、内田指令課長、佐々木主幹、
下段左から 山内消防次長、蛇走 俊樹 店長、豊間根 祐美子さん、畠山消防長

令和6年6月20日、ジョイス宮古千徳店内で、買い物中に心肺停止になった傷病者に対し、迅速な119番通報と適切な胸骨圧迫、また、プライバシーの保護及び救急活動の安全に配慮いただくなど、店内の従業員が一体となった勇気ある行動により、社会復帰に大きく寄与した事案であることから、令和6年9月26日ジョイス宮古千徳店様に対して、消防長から感謝状の贈呈を行いました。

第52回全国消防救助大会出場



令和6年8月23日(金)、千葉県市原市で開催された「第52回全国消防救助技術大会」ロープブリッジ渡過部門に、宮古消防署新里分署の川上大翔消防士が出場しました。

川上消防士は持ち前の類まれなる身体能力、そして厳しい訓練の成果を、大会で遺憾なく発揮し、競技タイム19.3秒、全国入賞という好成績を収めました。

【川上消防士コメント】

先輩方の熱いご指導、そして家族のサポートのおかげで全国大会入賞を果たすことができました。この経験をこれからの消防活動に活かし、住民の皆様の安心、安全のために尽力して参ります。



ロープブリッジ渡過とは、水平に張った20mのロープを、行きはセーラー渡り、帰りはモンキー渡りで往復する訓練です。宮古消防本部は同部門で2大会連続の全国入賞を果たしています。